

森かずとし通信



2023.9.5

No.44

報告

- ・議会ダイジェスト
- ・総務常任委員会で宿泊税の見直し論議を開始!
- ・かずとしの活動報告

詳しくは新しくなったホームページをご覧ください。
X (旧Twitter) も Facebook もやっています。リポストしてね。

森かずとし 🔍 検索 <https://morikazutoshi.com/>



百年を見据えた自治と分権を

金沢市議会議員 森 一敏

市長選で敗れた「金沢百年の計」が、六期目の金沢市議会議席となって甦りました。ひとり一人の市民の志、つながる力のお陰です。責務の重さを胸に議会での論戦を始めています。

夏休みに、子ども議会教室が開催されました。議会広報委員として小学五年生、六年生たちと交流しました。そのときの質問に舌を巻きました。「意見の違いはどうしていくのか。多数決で少数意見は無くなるのか。」との質問です。政治の世界をみて思うところがあったのかな? 学校での民主教育の実践も垣間見たような。

「少数意見を大切にするのが民主主義。諦めずに意見を言い続けると、それが力を持つことがある。」と子どもたちの素直な感性に感動しながら答えました。

立場の弱い人の側で人権を守る。それが「金沢百年の計」の基本理念です。遊説でも訴え続けた住まう権利の保障。困窮者、路上生活者、高齢者、シングルマザー世帯、障害のある人、そして刑期を終えて出所した人などに、住居を提供しようと奮闘する居住支援の活動に出会っています。住宅政策、空き家対策に、福祉と人権保障を融合させる政策を温めています。

復帰後初質問は、排外主義を厳しく批判された出入国管理&難民認定法の改正、性的少数者(LGBT等)への理解増進法の問題を金沢の課題に関わらせて聞きました。違いをかけがえないその人の持ち味として尊重する多様性社会は、いま最も待ち望まれていると思うからです。

住民こそ力の源泉 百年を見据えた自治と分権

国の横暴を許さない皆は自治体にある

そこへ向かって一歩ずつ踏みしめていきます。その基礎には、平和のうちに共に生きる思想を据えたいと決意を新たにしています。皆様とともに。



1. 補正予算における集落営農活性化促進費等について
2. 人権と多様性尊重の施策に関わって
3. 教科書採択の手続きについて
4. 市民のつぶやきから
ワンストップ「お悔やみコーナー」設置を切望する声について

6月議会

1 補正予算における集落営農活性化促進費等について

森: 具体的な内容と、集落営農活性化促進費に込めた農業施策上の期待を。

農水局長: 農業振興費は中核的な担い手となる農業形態や生産部会に対する農業機械や施設の導入を支援、中心経営体等機械施設導入支援費は大規模な農地の担い手の田植え機等の購入を、集落営農活性化促進費は7つの集落営農組織の効率的な耕作に必要なコンバイン等の購入を、加賀野菜産地生産基盤強化費など3事業は、加賀野菜等の生産拡大と品質向上を図るためのパイプハウス等の設置をそれぞれ支援するもの。

市長: 集落営農組織は担い手への農地の集積、機械などの共同利用による労働時間の短縮や生産コストの低減などにより所得向上を図ることができ、安定的かつ継続的な農業経営が期待される。現在、市内に36の集落営農組織があるが、さらなる育成に努めていきたい。

森: 日本の農政は大きな転換点に差しかかっている。今後また、金沢の農業政策の在り方についてぜひ議論をさせていただきたい。



2 人権と多様性尊重の施策に関わって

森: 出入国管理及び難民認定法の改正、性的少数者・LGBTなどへの理解増進法が成立した。出入国管理法も性的少数者への理解増進法も当事者から強い懸念や抗議が示されている。個人の尊厳から物事をスタートしていく責務は自治体においてさらに高まっていると思うが。

市長: 法制度が整えられたことは一歩前進。その中で、自治体での独自の政策も求められる。

森: 多様性ある社会を目指す本市は、この理解増進法の成立によってマイナスの影響を受けないか。また、パートナーシップ宣誓制度の拡充、さらには、その条例化や包括的に差別を禁止する条例制定の方向性は。

市長: 今回の法律制定は、本市施策のさらなる推進につながる。包括的な差別禁止条例の制定については今のところ考えていない。

森: 県内外外国人労働者の約40%を金沢管内が占めているが、在留者からの労働相談実績、また、部局横断した在留者支援施策の今日的な必要性に対する認識も。

市長: 在留外国人からの相談実績はなかったが、引き続き石川労働局やハローワーク金沢、庁内関係課とも連携し丁寧に対応していきたい。在留外国人への日本語習得支援事業は非常に重要。これまで大桑地区と田上地区において日本語学習支援教室を開設しているが、今年度新たに関係者による連絡会議を開催するとともに、学生ボランティアの参加促進に向けたモデル事業を実施している。部局間は当然として民間団体との連携もより深めていきたい。

他の様々な差別の解消に向けてこの条例化は必要である。共通した個人の尊厳というものについて、市民が共通の認識を深めていくことができるようにする。そこに包括的な条例制定の意味がある!!



総合力を持つ自治体としての下支えの事業の力を発揮すべし。

3 教科書採択の手続きについて

森: 教科書採択における公正確保の徹底について、文科省初中教育局長通知(※1)の趣旨をどう捉えているのか。

※1 教科書採択は採択権者の判断と責任により、綿密な調査研究を踏まえた上で、公正性、透明性に疑念を生じさせないよう適切に行われることが必要である

教育長: この通知を踏まえ、本市の子どもたちの実情を考慮して、金沢市教育委員会が責任を持って本市の子どもたちに最もふさわしいと思われる教科書を採択することが必要。

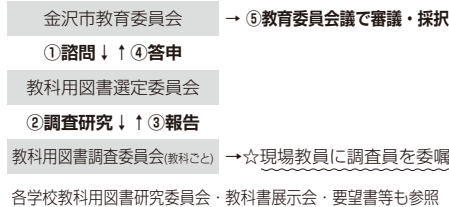
森: 綿密な調査研究を踏まえるということ、公正性、透明性に疑念を生じさせないようにすること、保護者や地域住民に対する説明責任、この3つをどうやって担保していくのか。

教育長: 答申内容を基に、教育委員会の責任において採択を行う。開かれた採択の推進に向けて採択の結果及びその理由、教育委員会議の議事録、選定委員会の議事録、調査委員会議の議事録、その他、教科用図書研究のために作成した資料を全て公開してきている。

森: 教育委員会議で採択を行っていくときに、この答申がどうしんしゃくされたか。それをどのように判断につなげていったか。ここを透明化をしなければいけない。先ほどの答弁では教育委員会議が非公開でなされていること、採択の委員会会議における教育委員の発言の名前が伏せられていることが触れられていない。



金沢市の教科書採択のしくみはこうなっている



教育長：静ひつな採択環境の中で自由闊達に議論を行い、また、公平性、中立性を保つ必要から会議の公開についてはこれまでも行ってない。加えて教育委員個々の、個々人の活動にその後の影響が出る懸念もあることから、議事録の発言者の掲載についても行ってない。会議の公開や議事録への発言者の記載については今後、教育委員会で真摯に話し合っていきたい。

森：記述内容が不適切なために、前回、2020年採択で、全国1%の採択率に落ち込んだ中学校歴史教科書が2015年度から連続採択されている。採択が完全密室とも言うべき非公開で行われ、議事録でも発言した教育委員名が伏せられているため、採択を決する教育委員の判断が分からない。このような教科書がどのような調査研究の結果を根拠として、いかなる議論と判断で採択に至ったのか、理解に苦しむ。

疑念を生じさせてはいけないのだ!

教育長：歴史教科書の採択に絞られた質問ではないかと思うが、採択のその時点で採択率が1%ということについては全く分かっておりませんし、採択にあられた教育委員の方々は金沢市の教育委員であるとの自覚を大事にされている。他の自治体の採択状況に左右されないで審議に臨まれていた。

森：2度目の採択の際、既に全国状況は6%だった。これは教育委員さん御存じだったんじゃないか。今回、さらに1%ですから、なぜなのかということ、様々な情報を得る機会も活用していただいて、そのことも含めて、ぜひ適正な採択論議になるように併せて求めておきたい。

全国は公開、採択会議そのものを公開する趨勢。教育委員には社会的責任があり、一人の教育委員としてどう判断したかということ、市民のどなたに問われても答える責務がある。金沢の情報の非公開のやり方がその責任を果たさなくても済むようにしている。ここは大いに見直していただかなきゃならない。

文教消防常任委員会で採択されたものの、本会議で不採択となった「教科書採択会議を公開することを求める請願」の中でも横浜市・藤沢市・大阪府・広島県・東京都・千葉県・長野県・滋賀県・埼玉県での傍聴～公開例や羽咋市での公開について示されている。教科書採択の公平性を担保しつつ保護者や市民への説明責任を果たそうとする教育委員会が今や全国のスタンダードとなっているにも関わらず**金沢市教育委員会はさっそく8/3の教育委員会議で非公開を決定した。**



4 市民のつぶやきから ワンストップ「お悔やみコーナー」設置を切望する声について

森：本市が設置するお悔やみ手続案内窓口の業務内容は、ワンストップ化への課題と展望を。

市民局長：市民課内に設置したおやみ手続案内窓口において、ハンドブックを活用した相談案内を行っているほか、必要に応じて職員が関係課へ御案内するなど、手続きがスムーズに行えるよう努めている。また、死亡後の必要な手続を自宅にしながら確認できるように、本市のホームページの行政情報自動案内システムにおやみ手続きに関する項目を拡充したところ。

市長：遺族の方に寄り添って手続きを進めていきたい。市役所にとっても手続きを円滑化するメリットもあるし、より効率的な手続きをしている自治体の例も勉強しながら検討していきたい。

森：市役所とは市民のお役に立つところ。大切な人がお亡くなりになったその直後、その思いに寄り添った手続きができるように、鋭意検討を進めていただきたい。



総務常任委員会で宿泊税の見直し論議を開始！

条例施行後の状況に関する調査検討会議の設置をめぐって

「調査スケジュールについては7/5に初回、
8/3には取りまとめを行い、9月には市長に報告する」
また、当初

「『金沢市宿泊税施行後の状況に関する(アンケート)調査』を基礎資料としたい」と答弁

そもそもこのアンケート結果は状況を正確に反映しているのか？

- ・回収率55.1%、日常の経営業務に追われる中小施設の実態が反映していないのでは？
- ・宿泊者へのヒヤリングは回答者のほとんどが観光客。ビジネスホテルの仕事宿泊者やラブホテルの実態に関する記載が見られない
- ・昨年の調査報告書にある「宿泊税は宿泊事業者にはほとんど影響がなかった」との評価は果たしてそう言い切れるのか？

実態を反映させ、適正な制度検証を行うには、腰を据えた調査検証をやり直す必要がある!

結果 「**実態調査実施後に
第3回を設定する**」と
見直しがなされる

「観光と市民生活の調和を図る」ための宿泊税は、宿泊者に課税する金沢市独自の税制度です。その一方で、規模が小さく、ビジネス客主体のビジネスホテルやラブホテル等が、客離れて深刻なダメージを受けてきました。その不正を正すため、今後、**実態調査の内容と、免税・低価格帯に対する非課税制度の設定が課題になります。**



拙速かつ議会軽視、あたかも現行制度の継続を見越したかのようであり、条例改正を視野に入れていないのではないか。タイムテーブルの見直しを!



かずとしの活動報告



4月23日
金沢市議会議員選挙にて4413票、第4位にて当選。再び金沢市議会へ。



4月27日~30日 韓国訪問
6月2日~4日 韓国月進会訪問団受け入れ
4年ぶりの東北アジア平和連帯の相互訪問。「尹奉吉義士共の会」の訪問、我が事のように私の金沢市議復活を喜んでくださる心深い方々と再会しました。訪問団歓迎会では、ソプラノ韓錦玉さんと「アリラン峠の赤とんぼ」を二重唱。(尺八伴奏は盛本よしひささん)



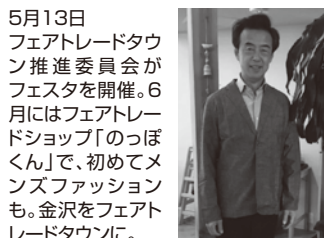
5月3日
憲法施行76周年記念県民集会に参加。泉学寮廃寮阻止に最後までたたかった元寮生と共に。



5月5日
山科農園にて。初夏の日差しを受けて、土を起し、畝を築き、さつまいも苗を植えました。



5月10日
円光寺こども食堂に参加。今井シェフの指揮に、ボランティアがみんなであえて、一緒に楽しみました。



5月13日
フェアートレードタウン推進委員会がフェスタを開催。6月にはフェアートレードショップ「のっぽくん」で、初めてメンズファッションも。金沢をフェアートレードタウンに。



5月29日
石川県憲法を守る会定期総会。市庁舎前広場での政治的表現の自由、マイナンバー離脱請求訴訟、志賀原発廃炉に!訴訟、小松基地爆音訴訟など、石川の足元の課題についてたかかず方針を確認しました。



6月3日
東北アジアの平和連帯を考える意見交換会。金沢をノーベル平和賞のまちに。



7月4日
かなざわ夜回りの会定例ホームレス支援夜回り。



7月11日
憲法を守る会定例街宣。史実に学び、不戦の誓いを新たに。



7月15日
金沢市の子育て支援施策を視察。(山本由起子前金沢市議コーディネーター)



8月1日
暑さにも負けず街頭演説。軍事費増やすな生活守れ!!



8月2日
地元の大学にて。教育と社会に関する講義を行いました。



8月7日
殉難乙女の像前での追悼のついで。卯辰山にて。(中央が98歳の生存者西村八重子さん)

森かずとし日記

